

建築組合の皆さん、ありがとうございます

園児たちへ

素敵なおうちのおくりもの

10月9日(日)
～16日(日)

パートナーしがの 強調週間

チャンスを分かち、 未来を拓こう

この週を機に、家庭で、職場で、地域で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を築く一歩を、あなたも踏み出してみませんか。

実現には皆さん一人ひとりの取り組みが必要です。



仕事と生活の調和を進めるキャラクター
滋賀県の「カエル」ちゃん
イラスト：タカノキョウコ

▶ おままごとが楽しくできるよう、砂場の前に設置してくださいました



▲作業中の建築組合の方々

の技で素敵なお家が出来上がりました。建築組合の皆さんは、毎年ボランティア活動をしてくださっています。ありがとうございます。

8月25日(木)、日野町建築組合(岡崎保支部長)の8名の皆さんが、南比都佐幼稚園の子どもたちのために、木製の家の形をした遊具を製作してくださいました。朝早くから作業を始められ、夕方には、南比都佐幼稚園の園庭に設置してくださいました。窓は四角形やひし形にくりぬかれ、見た目も工夫されており、プロ

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

秋空は高く、風は爽やかに頬をなでてゆきます。10月9日は「日野町スポーツ天国の日」。昭和56年に滋賀県で「びわこ国体」が開催され、日野町では、大谷体育館で相撲競技が行われました。当時、県庁に就職し4年目、国体本部施設課に所属し、国体大会の施設整備などの仕事をしていました。国体を契機に県内の体育施設が整備され、優秀な選手も招致され、スポーツの裾野が広がりました。高校のレスリングが強くなったのも国体がきっかけです。スポーツ天国の日は、この国体を記念に開催され30回になりました。毎年、県大会や全国大会で活躍される選手をたくさん表彰させていただけることは素晴らしいことです。また、子どもたちの体力低下が言われていますが、子ども連れの若いお母さんたちの参加も目立ちうれしく思います。

ところで、スポーツといえば、女子サッカーの「なでしこジャパン」の活躍には感動です。ワールドカップ優勝に続いて、ロンドンオリンピック出場を決めてくれました。「がんばろう日本」「あきらめないで」「チームワーク(絆)が大切」。こうした言葉は、東日本大震災を経験した国民の気持ちと重なって広がっています。彼女たちの練習環境は必ずしも十分ではなく、アルバイトをしたり、仕事もしたりして練習に励んでいます。そうした苦勞をしながらの選手たちのおごらずひたむきな姿勢が共感を呼んでいるのではないでしようか。

厚生労働省の発表では、アルバイトなど非正規労働者の割合が過去最高の38・7%になりました。事業所が「賃金を節約」するため正規職員を雇用しないことが主な原因です。その結果、格差と貧困が拡大しています。被災地復旧も雇用対策も政府の対策は不十分です。「あきらめないで」「がんばろう」という国民の真摯な思いに、しっかりと誠実に迅速に応えなければなりません。

ナデシコの花が風に揺れる美しい姿に心が和み、その先に希望が見える温かい社会をつくるために力を合わせましょう。